

マイナビ転職「Uターン転職に関する実態調査」を発表

～ 地方出身者ほど、「家庭の事情」を理由にUターン転職を検討する割合が高い一方で、「求人の少なさ」「地元の景気」など、就職環境の障壁の高さを不安視 ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）が運営する総合転職情報サイト『マイナビ転職』（<http://tenshoku.mynavi.jp>）は、転職意向のある20～39歳の男女（正社員）のうち、Uターン転職を視野に入れている人を対象にした「マイナビ転職 Uターン転職に関する実態調査」を発表しました。Uターン転職に関する調査は、前年度に続き2回目となります。概要は以下の通りです。

【TOPICS】

Uターン転職を希望する理由は「自分にあった生活スタイルや趣味を生かした生活がしたい」が最多。地方出身者ほど、親の世話など「家庭の事情」によるUターン転職を視野に年齢が上がるほど「Uターン先の求人数の少なさ」を不安視する傾向に。地方部へのUターン転職は「地元の景気」や「情報入手の困難さ」が障壁に。

【調査結果の概要】

Uターン転職の希望理由は、「自分にあった生活スタイルや趣味を生かした生活がしたい」が約3割で最多に。地方出身者ほど、親の世話など「家庭の事情」を理由としたUターン転職を検討する結果に【図1】
Uターン転職を希望する理由を聞いたところ（最大5つ回答）「自分にあった生活スタイルや趣味を活かした生活がしたいから」が32.0%で最も多かった。次いで「家庭の事情（24.8%）」、「勤めていた会社に不満があるから（23.8%）」と続いた。

「家庭の事情」と回答した層を年齢別に見ると、『20～29歳（16.0%）』と比較し『30～34歳（29.7%）』『35～39歳（27.4%）』の割合が高い。また、実家所在地別では、『その他（関東・中部・関西以外）』の層は34.7%と、『関東（18.7%）』の倍近い数値となり、地方出身者ほど親の世話などが理由で、Uターン転職を検討する割合が高いことが分かった。

Uターン転職への不安は「給与が下がる」が最多で約4割。年齢が上がるほど「求人数の少なさ」を不安視する傾向に【図2】

Uターン転職を考える際の不安を聞いたところ（最大5つ回答）「給与が下がる（39.8%）」が約4割で最多となった。次いで「仕事に就けるか心配（33.6%）」、「求人数が少ない（29.6%）」と、雇用に関する回答が続いた。

年齢別に見ると、年齢が高くなるほど「求人数が少ない」という不安を抱く割合が高くなり、『35～39歳』では40.0%に達する。（参考 / 『20～29歳』：18.7%、『30～34歳』：28.6%）35歳を過ぎると転職が難しくなると考えられており、“35歳の壁”への不安がうかがえる結果となった。

また、実家所在地別では、『その他（関東・中部・関西以外）』は、「求人数が少ない（46.7%）」、「地元の景気が良くない（21.3%）」、「Uターン先の情報を入手することが困難（21.3%）」が他の地域と比べて特に高い数値となった。地方出身者は、家庭の事情などによりUターン転職の必要に迫られているものの、不安要素が他の地域と比べて多く、実際にUターン転職に踏み切る際の障壁が多いことが推察される結果となった。

マイナビ転職「Uターン転職に関する実態調査」概要

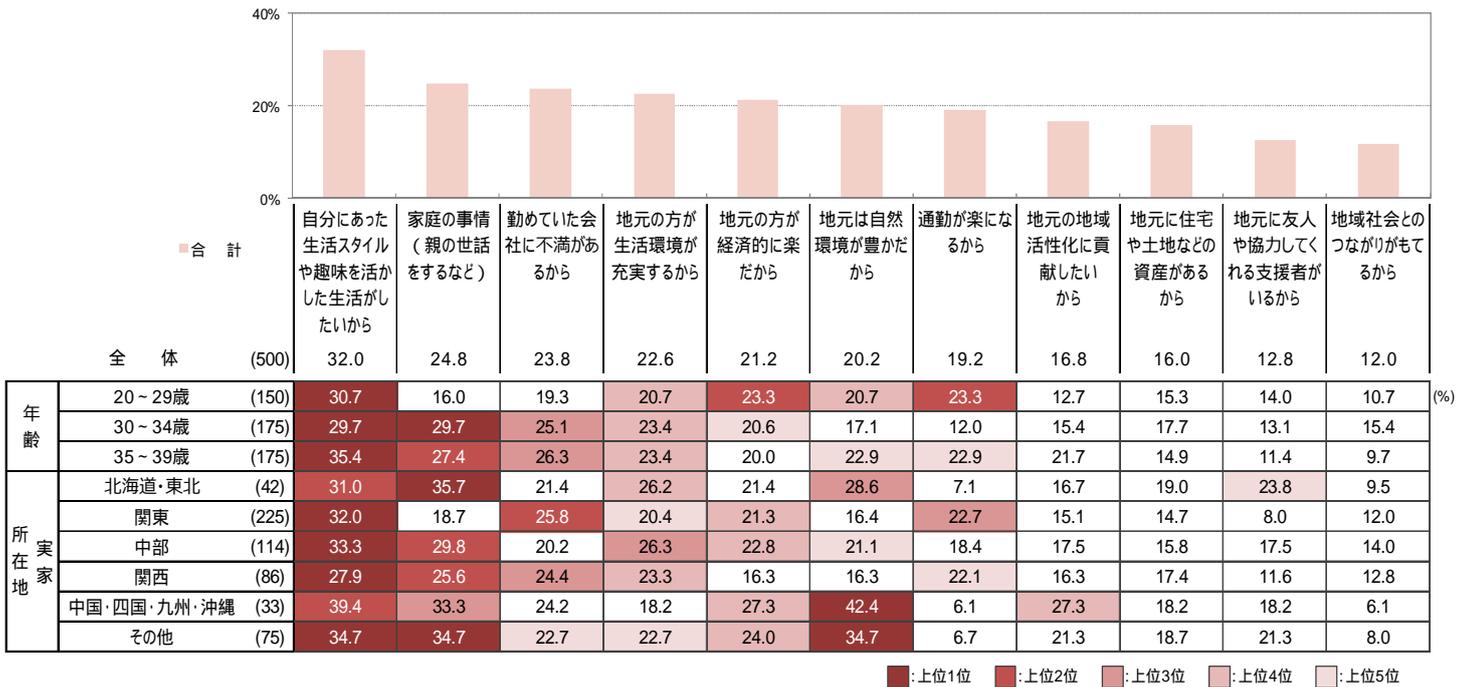
調査地域 / 首都圏（一都三県）・愛知県・大阪府在住者

調査方法 / インターネット調査

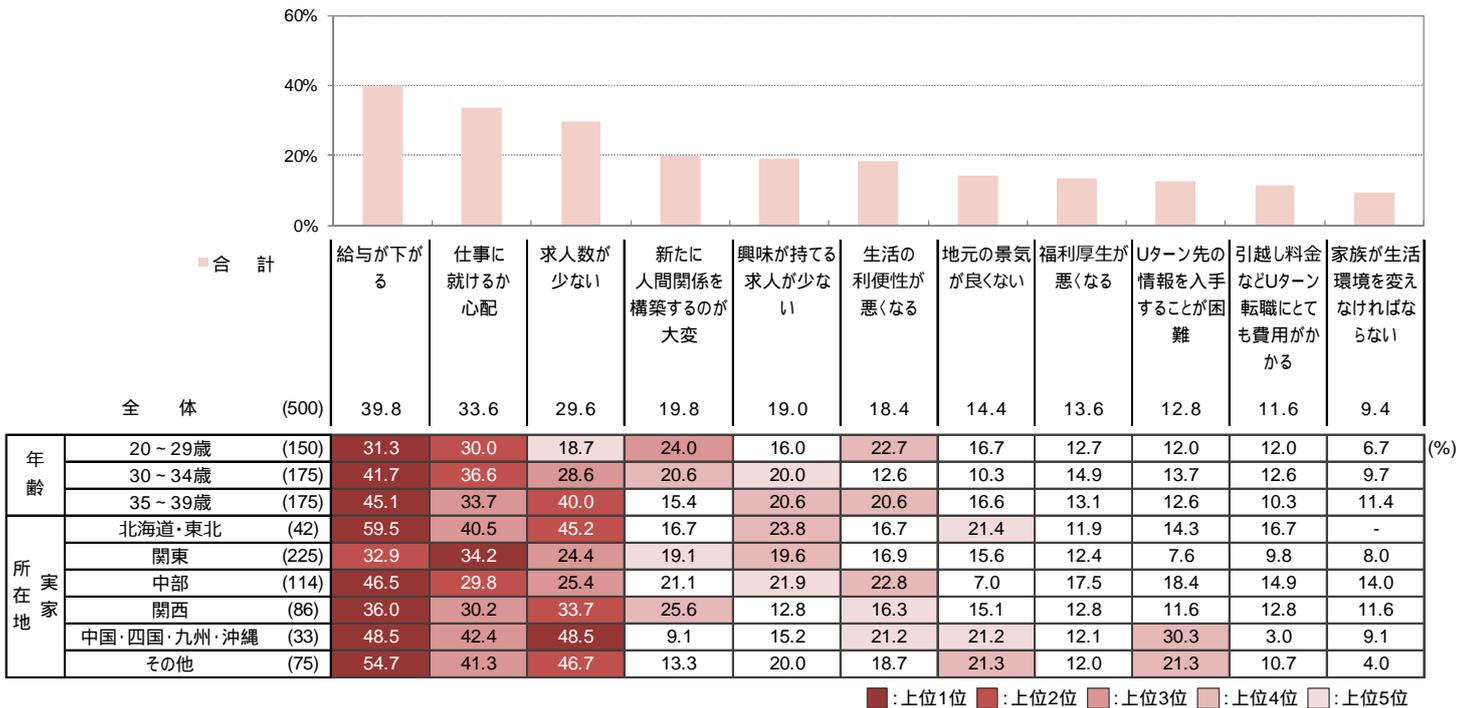
調査期間 / 2015年11月16日（月）～11月18日（水）

調査対象 / 転職意向がある正社員勤務の人のうち、Uターン転職を視野に入れている20～39歳の男女500人
（回答内訳 / 20～29歳：150人、30～34歳：175人、35～39歳：175人）

【図1】Uターン転職を希望する理由（最大5つ回答／一部抜粋）



【図2】Uターン転職の不安（最大5つ回答／一部抜粋）



調査結果の詳細はマイナビ HP「ニュースリリース」(<http://www.mynavi.jp/news>)で公開しています

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 転職情報事業本部 調査管理課
 岩下

Tel : 03-6267-4455 Fax : 03-6267-4018
 Email : mt-kenkyu@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部
 西部（にしぶ）

Tel : 03-6267-4155 Fax : 03-6267-4050
 Email : koho@mynavi.jp